

伝国の杜サポーター通信

No. 7 (平成28年9月9日)

厳しい暑さも過ぎ、朝夕涼しく過ごしやすくなりました。秋ももうすぐですね。
日々のサポーター活動、本当にありがとうございます。最近の活動報告と、今後の予定などを
お知らせいたします。裏面の3か月スケジュールとあわせて確認をお願いします。

最近の活動から

～ お客様を「おもてなし」レセプション活動 ～

ホールの公演での案内や誘導、チケットのもぎりやパンフレット配布などで活動いただく「レセプション」は、お客様をもてなし、公演を気持ちよく楽しんでいただくには欠かせません。

伝国の杜ではさまざまな公演を開催していますが、今年度はそのうち4回の公演と市民茶会で計10名(延べ17名)のサポーターに活動していただきました。

参加したサポーターさんが「一人ひとりのお客様を丁寧にご案内したり、ご来場へ感謝の気持ちを伝えたいと意識して活動しました」とおっしゃったとおり、笑顔でお客様をお迎えし、公演をより一層引き立てていただきました。

レセプションでは新たなメンバーを募集中です。くわしはお問い合わせください。



新文化複合施設「ナセBA」見学会

7月1日、市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーからなる新文化複合施設「ナセBA」がオープンしました。これに先立って、6月11日に伝国の杜サポーターによる内部見学会を開催しました。見学会には23名のサポーターが参加し、図書館の村野館長のガイドのもと一般の閲覧スペースはもちろん、通常は見ることができないバックヤードまで見学することができました。参加者の皆さんからは「くわしく説明いただき良く理解できた」、「通常上がれない5階まで上がれて貴重な体験だった」、「開館が待ちどしい」という感想のほか、「素晴らしい施設なのでたくさんの人に活用してもらいたい」、「ナセBAがあることで街なかの活性化につながってもらいたい」、「米沢ならではの特集を組んでほしい」など期待の声も聞かれました。



図書館サポーターも活動開始

伝国の杜サポーターと同じように図書館にも「図書館サポーター」がいらっしゃいます。書架の整理や図書の補修、読み聞かせやワークショップのサポートのほか、郷土資料の整理など、図書館ならではの活動がスタートしました。



蔵展示 河童洞コレクション

たのしき郷土玩具の世界3「郷土玩具動物園」 展示準備進行中

10月19日から、米沢市座の文化伝承館で蔵展示「河童洞コレクション たのしき郷土玩具の世界3『郷土玩具の動物たち』」を開催します。この展示の設営にご協力いただける方をサポーターの皆さんからも募集しておりましたが、9月3日に活動の第1回目となる説明会「郷土玩具コレクションについて知ろう」が開かれました。説明会には3名のサポーターが出席し、実際に展覧会に出品される予定の玩具を見ながら、その魅力を感じていただくことができました。

展示に向けてはあと2回ほど活動があります。これからの参加も可能です。興味を持たれた方はお気軽にお声がけください。



< 蔵展示へ向けた今後の活動 >

第2回目 展示の下準備 10月8日(土) 10時から2時間程度

展示に出す資料は何を選ぶか…大事な展示の下準備です。

第3回目 展示を作ろう 10月17日(月)・18日(火) それぞれ10時から2時間程度

資料並べにライト調整…いよいよ展示を作ります!



蔵展示 河童洞コレクション「たのしき郷土玩具の世界3『郷土玩具の動物たち』」は10月19日(水)～10月31日(日)に米沢市座の文化伝承館・蔵で開催します(入場無料)。

平成28年度伝国の杜サポーター研修

福島県立美術館・企画展「原安三郎コレクション 広重ビビッド」鑑賞会 & 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ視察

本年度のサポーター研修として、11月13日(日)に福島市へ他館視察研修に行くことになりました。福島県立美術館の企画展「原安三郎コレクション 広重ビビッド」鑑賞会と、福島市子どもの夢を育む施設こむこむ視察の2本立てです。サポーターにはくわしいご案内を同封しますので、ぜひたくさんの方にご出席いただきたいと思います。

(今年度の研修は当初9月の開催を予定しておりましたが、11月に変更になりました。)

伝国の杜サポーターに関する連絡・お問合せ先

電話：0238-26-8000 FAX0238-26-2660

メール：supporter@denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp

